

## 一年を顧みて

農業研究センター所長 田中 義一



平成9年度に新しく研究センターがそろりと動き出してから一年、あっという間に経過した。年度当初は、本部と県北農業研究所については移転と春作業が、さらには研究推進の打合せやら何やらが重なり、大袈裟に言えば毎日が祭りのように騒然となっていた。それも7月14日の開所式以降は落ち着き、研究センター全体として歯車が確実に噛み合い、運営が軌道に乗ったという実感が得られるようになった。

また、年度半ばには、今までの成果が高く評価され、米及びりんご関係で自治大臣賞を、和牛関係で知事特別表彰を受けたことは開所に大きな花を添えていただいたものであり、大変な栄誉であった。

これら諸々を含めて本当に全職員が黙々と役割を全うしてくれたし、さらには関係機関の暖かいご支援があって初めてこの一年を乗り切れたのである。あらためて感謝申し上げる。

研究センターとしては、畜産研究所本屋の整備を残すだけであるが、それも順調に進んでいる。組織もノウハウも整っており移転を円滑に進める自信は十分にある。

ところで、この一年、新しい研究組織を生かせる活動であったろうか。初年度であり十分満足とまでは行かないまでもさすがに組織力により多彩で充実したものであったと思うが、今後一段と高い水準のものにするため、やらねばならないこともある。

これからの研究は、真にオリジナルなコンセプトを生み出すことが強く求められるが、それは適確な研究ニーズの把握と高度な研究企画によると同時に、研究員個人が自分の能力の限界に挑戦し、個人が持つエネルギーの爆発によって初めて可能である。そのための第一歩として、個人が職階制を越え大いに議論し自らの潜在能力を思う存分発揮できる研究風土を構築することである。

年度末を控え研究員は成果の取りまとめに日夜取り組んでいるが、議論し鍛え合ってもらいたい。平成10年度に向けた新規研究課題設定についても然りである。

本年度は開所に当たり、職員の手でりんご・桜やいちいの木を記念植樹したが、それらの成長と共に研究も県農業の発展に大きく寄与できる立派なものに育っていくことを確信している。

## === 平成10年度春季一般公開 ===

本部及び県北農業研究所において、下記の通り春季一般公開を開催いたします。生産者及び消費者の皆さんの来所をお待ちしております。

### 【本部】

開催日時 平成10年4月13日(月)~17日(金) 毎日午前10時~午後3時  
開催内容 庁舎の公開等、農業技術・家庭菜園相談

### 【県北農業研究所】

開催日時 平成10年4月13日(月)~17日(金) 毎日午前10時~午後3時  
開催内容 庁舎及びほ場等の公開、農業技術・家庭菜園相談

## === 公開セミナーのお知らせ ===

センター本部では、春季一般公開に併せて、下記の通り公開セミナーを開催します。多数の参加を期待しております。

【日時】 平成10年4月17日(金) 午後1時00分~  
【場所】 岩手県農業研究センター大会議室  
【演題】 「農業におけるバイオテクノロジー利用」  
【講師】 農産部応用生物工学研究室長 農学博士 仲谷房治

# 所内セミナー（中国農業事情）

— 中国黒龍江省農業科学院原子能利用研究所長講演 —

平成10年2月23日（月）、中国黒龍江省農業科学院原子能利用研究所長の蘇俊（Su Jun）氏及び研究室長の曹大為（Cao Da Wei）氏が来所しました。来所に当たって、蘇所長から「農業科学院の試験研究の概要と日中技術協力」と題して講演が行われ、中国の最近の農業事情について、興味深い話がなされました。蘇所長から共同研究の提案もなされ、現在行われている海外技術員研修以外の研究交流について意見の交換も行われました。



講演を行う蘇所長



写真左から何寧氏（海外技術研修生として本センターで研修中、今回通訳）、曹大為氏、蘇俊氏

## 平成9年度第2回農産物加工指導センター研修会

岩手県特産品の機能性成分利用についての研修会が開催されました。岩手大学農学部西澤直行教授から「岩手県農産物の食品機能性の研究と地場新食品開発、地域農林水産業振興」、倉敷芸術科学大学の須見洋行教授から「食品機能性成分と健康について」と題し、講演が行われました。生産者や関係団体の方々100名近くの参加者を得て、熱心な研修が行われました。



西澤教授の講演



須見教授の講演

## 今後のセミナー開催の予定

日 時	平成10年3月12日(木) 13:30~16:30	平成10年3月13日(金) 13:15~15:30	平成10年3月17日(火) 9:00~11:45	平成10年3月17日(火) 13:30~15:30
場 所	農業研究センター大会議室	農業研究センター大会議室	農業研究センター中会議室	農業研究センター中会議室
講 師	マーケティングプロデューサー 平岡 豊氏	株式会社八木澤商店 代表取締役社長 河野和義氏	依頼研修終了職員	水稻直播研究会委員 鷲尾 養氏
講演内容	「いまなぜ農産物マーケティングか」	「本物へのこだわり —オンリーワンを目指して—」	「平成9年度農林水産省依頼研究員研修報告」	「水稻直播栽培の技術的課題と研究の方向」

## IBCラジオ農業最前線放送予定

月～金 午後0時55分～

- 3/9 りんご等果樹の仕上げ剪定と発芽期に向けた管理作業 園芸畑作部 石川勝規
- 3/10 きゅうりの育苗管理について 園芸畑作部 深澤明子
- 3/11 麦の越冬の管理について 園芸畑作部 高橋昭喜
- 3/12 りんどうの育苗中期までの管理 園芸畑作部 中野俊成
- 3/16 水稻の種子予措と育苗管理①～④  
～19 農産部 早川博史
- 3/23 春先のりんご病害虫対策①ふらん病・②モニリア病  
～24 生産環境部 石川佳子
- 3/25 春先のりんご病害虫対策③バダコ類・④ハマキムシ類  
～26 生産環境部 藤原 巧
- 3/30 雑穀の特性 東北農業研究所 菊地淑子
- 3/31 (未定) 東北農業研究所 大里達朗
- 4/1 東北高冷地向け野菜品種 東北農業研究所 菅野史拓
- 4/2 雑穀の栽培 東北農業研究所 菊地淑子
- 4/8 果菜類の定植後の管理について 園芸畑作部 深澤明子

4/9 トルコギョウの育苗へ定植技術 園芸畑作部 輪達公重

## 「おはよう今日も元気で」内容

午前6時50分～

- 3/13 農業におけるマーケティングの必要性 企画経営情報部 佐々木健治
- 3/20 野菜畑の市費施肥・土壌管理 生産環境部 佐藤 喬
- 3/27 水稻の種子予措と育苗管理について 農産部 一守貴志
- 4/3 リンドウの管理について 園芸畑作部 中野俊成
- 4/10 DNA解析による新しい育種法の開発 畜産研究所 鈴木 暁
- 4/17 農業機械（仮題）

## 主な来所者

青森県園芸試験場、新潟県農業総合研究所、江刺普及センター、二戸市認定農業者、役員団体、北海道十勝農業試験所、熊本県農業研究センター、北上市認定農業者、一関地方振興局農政部、尾上町農業委員会、紫波町河前農事実行組合